



日本ウェルネススポーツ大学のご紹介
 日本ウェルネススポーツ大学は、日本初の「対面授業と通信教育を融合させた体育・スポーツ系大学」として2012年に開校し、2018年4月に通学課程を開校しました。
 また、運営法人の学校法人タイケン学園は2018年に20周年を迎え、スポーツ競技者、スポーツトレーナー、スポーツインストラクター、スポーツ指導者、保育士、幼児体育指導者、歯科衛生士、動物看護士、トリマー、ドッグトレーナー、動物飼育技術、ドルフィントレーナー、グローバル人材等の専門職人材を全国で数多く輩出しています。
 日本ウェルネススポーツ大学の専

門専攻には「トップスポーツプロモーション」と「生涯スポーツ」の2つがあり、「トップスポーツプロモーション」では、本学園が国際大会・国内大会で蓄積してきた数々のトップスポーツを学び、また、「生涯スポーツ」では健康やライフスタイルに関する学術研究の成果を学び、スポーツコーディネーターを目指します。
 地域社会との連携も大切にしており、町のイベントへの参加、公開講座の開設、ウェルネススポーツアカデミーによる「TONEウェルネスきんとれ会」や小・中学生対象のジュニアクラブによるスポーツ活動を行っています。

12月のオープンキャンパス(会場：1号館)
 12月1日(土)、15日(土) 14:00までにご来場ください。
 事前にWebまたは電話でお申込みください。参加費は無料です。



(写真上) 旧利根中の校舎だった1号館校舎
 (写真下) 野球部の練習風景

新コーナー
WELLNESS
 日本ウェルネススポーツ大学
 通信
Campus!
 きゃんぱす

2012年に、旧利根中学校跡地に開校した「日本ウェルネススポーツ大学」からの情報を、毎月ご紹介いたします。



学校法人タイケン学園
日本ウェルネススポーツ大学
 1号館 利根町布川 1377
 2・3・4号館 利根町布川 1649
 TEL 0297-68-6787 FAX 0297-68-6788

新着図書情報!

図書館からのおススメ!

「下町ロケット ヤタガラス」

池井戸潤 [著] 小学館

大きな挫折を味わってもなお、前に進む者たちの不屈の闘士とプライドが胸を打つ作品。

一般書

「伊能図探検」

河出書房新社編集部編 河出書房新社

「身近な人の上手な在宅介護のしかたがわかる本」

下正宗 [監修] 自由国民社

「100年を生きる」

天野篤 [著] セブン&アイ出版

※この他にも新着図書コーナーに新しい本があります。



映画会のお知らせ

「巴里のアメリカ人」(114分) (1951年アメリカ)

監督 ヴィンセント・ミネリ 主演 ジーン・ケリー

パリで修行中の画家とパリジェンヌの恋物語。

17分におよぶラストのダンスシーンが見どころ。ミュージカル映画の名作。

●日時: 11月24日(土) 午後1時~

●場所: 利根町図書館 2階多目的ホール

●入場料: 無料

返し忘れの本はありませんか?

図書館の資料はみなさんのものです。多くの方に気持ちよくご利用いただけるよう、返却期限を守りましょう。

図書館

だより



利根町図書館 ☎68-8868

開館時間/午前9時30分~午後5時

休館日/毎週月曜日、祝日、年末年始、

月末資料整理日、特別整理期間

HP / http://tone-lib.jp

12月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

は休館日

とねまち
 歴史探訪

看湖楼一楽句碑と五大明王石碑

名石匠窪世祥が利根町に残した石碑を紹介するシリーズ最後は、あと2基の詳細です。

ひとつは、徳満寺の本堂(地藏堂)の左手にある高102cm、幅87cm、厚23cmの石碑。表面に「法の庭その日の日の落ち葉かな 看湖楼一楽」と刻まれた星野一楽の句碑です。

裏面には「江戸の隠居 文政庚寅神無月のころ 友人一楽にこはれて筆をとる 八十翁 仏菴 窪世祥鑄」とあります。仏菴とは江戸の著名な書家である中村仏庵で、一楽と親しい間柄でした。

仏庵はとくに梵字に優れ、その梵字が揮毫され窪世祥が刻んだのがもう1基の4基目の石碑。

琴平神社の二の鳥居左の空き地にある、高98cm、幅47cm、厚12cmの「五大明王の石碑」です。

この石碑の上部は五大明王を表す5つの梵字(右下に「佛庵連梵



徳満寺地藏堂左にある「看湖楼一楽の句碑」

第十六回
 名石匠「窪世祥」と利根町(その4)



琴平神社三の鳥居左空き地の「五大明王の石碑」

書」とあります。中央には「水神」が線画で描かれ、下部には棟鳩野長の撰文で、「水神もしくは水神宮と一楽」の内容の文章が彫られています。琴平神社の拝殿前に「水神宮」の古い神額が置かれていたことなどから、このあたりに以前は「水神宮」が祀られていたものと推定されます。

これら2基の石碑も第一線級の文人・石匠が手掛けた、文化財的価値が高い作品と言えます。

以上、利根町に現存する名石匠窪世祥の作品4基を4回のシリーズで見えました。

ちなみに、窪世祥をはじめ、以前紹介した廣群鶴、井亀泉の石匠の本名(姓)は、順に大窪、廣瀬、酒井であり、昔から、中国の先人にあやかり1・2文字省略し、漢字3文字で記すのが石匠をはじめ文化人に共通した慣例のようです。

寄稿 利根町歴史探訪の会
 水木博明 氏

利根町地域おこし協力隊 活動レポート
利根町の宝みつけた!!
 お宝ファイル1『大平野生植物園』



植物園の保全活動をされている「チェンジ・6」のみなさん



小高い里山の頂上からは、遠くにスカイツリーや富士山が見られることも

利根町のみなさん、こんにちは! 地域おこし協力隊の峯山です。今月から、利根町の「宝」になり得る「モノ・人・こと」を、私と諸隊員の二人が、交代で紹介していきますので、どうぞよろしくお願ひします!

私が今回ご紹介するのは、大平地区の山中にある「大平野生植物園」です。この植物園では、春にはウグイスの声がり山に響き渡り、木・竹・葉が風で揺れる自然の音が心を癒してくれ、夏にはヤマユリが立派な花を咲かせるなど、四季折々の草花と自然散策を楽しむことができます。

今年の6月末~7月中旬にかけて開催されたヤマユリ祭りでは、期間中約千人の方が訪れるという盛況ぶり、園の保全活動をされているボランティア団体「チェンジ・6」のみなさんによると、ヤマユリ祭り期間中とその前後の来園者のうち、約25%の方が利根町民で、残り75%の方は、町外からだったそうです。

観光スポットが少ないというイメージのある利根町ですが、多くの観光客がここ利根町を訪れたことになりました。これはもう町の観光名所のひとつとして胸を張れますね。

この植物園がある大平の山は、ちよつと運動するにはちょうど良いサイズ。自然観察と健康づくりを兼ねて散策してみたいかがでしょうか? 自然は子どもたちの情操教育にも良い教材だといわれています。お子さまやお孫さんと一緒に散策してみても良いかもしれませんね。

利根町地域おこし協力隊 公式SNS



大平野生植物園
 利根町大平 447 あり 無休
 美化運動にご協力をお願いします。

